

平成29年度 事業報告

平成29年度は、当協会の設立目的である交通安全と事故防止等を図るための諸活動を実施しました。自転車等対策事業及び自動車駐車場等経営事業においては、「お客様サービスの向上」を第一に、適正な業務執行の確保などに努めました。

交通安全対策事業では、子どもや高齢者及び自転車の交通安全と事故防止対策に重点を置いて推進しました。

横浜市、区役所、神奈川県、神奈川県警察、地区交通安全協会及び関係団体（以下「関係団体等」という。）と連携して、地域の実情に合わせて、子どもから高齢者までの各世代に応じた、「はまっ子交通あんぜん教室」、「ヨコハマ・シルバー・セーフティスクール」、自転車交通安全教室等、交通事故防止のための諸事業を展開しました。

また、自転車駐車場を活用し、自転車安全マナーアップキャンペーン等の交通安全啓発活動に取り組みました。

自転車等対策事業では、横浜市営自転車駐車場の管理運營業務については、東部及び西部区域ともに前年度に引き続き受託し、プロポーザルで提案した諸事項を実施しました。また、平成30年度以降も東部及び西部区域を受託することができました。

放置自転車等の移動、保管・返還等の業務については、公募型指名競争入札の結果、当協会は東部及び西部区域を受託できませんでしたが、平成30年度については、東部区域を受託することができました。

横浜市交通安全協会自転車会では、4,437名の加入者がありました。会員に対する自転車交通安全に関する各種講習会・研修会の参加機会の提供、自転車保険への加入促進及び割安な団体自転車保険の提供などを行いました。また、2月14日には当協会が金沢警察署、金沢交通安全協会、金沢区安全安心まちづくり推進協議会と共催で、自転車交通安全教室を実施しました。

自動車駐車場等経営事業では、違法駐車をなくし、交通事故の防止に寄与するため、駐車場を整備するとともに、お客様に安全で快適に利用していただけるよう管理運営を行いました。また、横浜市磯子区の市有地の貸付公募の入札の結果、平成30年度から新たに根岸プールセンター前自動車駐車場を開設することとなりました。

平成29年度 総務関係報告

1 組織・体制

(1) 組織・人員の現況 (平成30年3月31日現在)

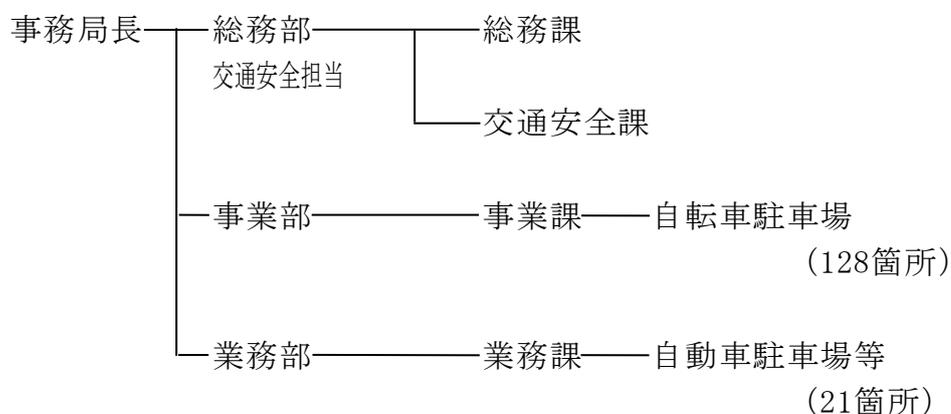
ア 役員・評議員

理事 (4) (会長 1、副会長 2、専務理事 1)

監事 (3)

評議員 (15)

イ 事務局組織



ウ 職員数

事務局本部 (常勤役員を含む。) 23名

自転車駐車場 276名

自動車駐車場 17名

計 316名

2 協会機関会議等の開催

(1) 理事会 (4 回)

平成29年6月2日

- ・平成28年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
- ・公益目的支出計画実施報告書(案)について
- ・報告 (今後の評議員会・理事会の日程及び交通安全功労者表彰式の日程)

平成29年6月19日

- ・会長、副会長及び専務理事の選任について
- ・その他 (次回理事会日程)

平成29年9月1日

- ・平成29年度交通安全功労者等の被表彰者の決定について
- ・平成29年度事業の執行状況報告について

平成30年3月27日

- ・平成30年度事業計画(案)について
- ・平成30年度収支予算(案)について
- ・評議員会及び理事会の日程について
- ・報告(平成29年度事業の執行状況について)

(2) 評議員会(1回)

平成29年6月19日

- ・平成28年度事業報告(案)及び収支決算(案)について
- ・公益目的支出計画実施報告書(案)について
- ・理事、監事の選任について(任期満了に伴う改選)
- ・評議員の選任について(任期満了に伴う改選)
- ・その他(個人情報保護研修)

(3) 監査

平成29年5月30日

次の内容について監事による監査を実施しました。

- ・平成28年度事業報告及び収支決算
- ・公益目的支出計画実施報告書

3 理事、監事及び会長等の退任及び選任

評議員会において、任期満了に伴う理事及び監事の選任が行われ、理事5名及び監事3名全員が再任されました。

評議員会後開催された理事会において、会長、副会長及び専務理事の選任が行われ、会長、副会長及び専務理事全員が再任されました。

その後、次のとおり副会長が退任されました。

(敬称略)

- ・平成30年3月5日 退任(1名)
須藤 照彦

4 評議員の退任及び選任

評議員会において、任期満了に伴う評議員の選任が行われ、地区交通安全協会や横浜市からご推薦をいただいた方々全員が選任され、評議員14名が再任、2名が新任となりました。その後、次のとおり評議員が退任されました。

(敬称略)

(1) 評議員の退任及び選任 (16名)

・平成29年6月19日の評議員会の終結の時 退任 (16名)

杉 島 和三郎	馬 場 正 治	横 井 正 巳
置 田 光 男	<u>小 島 弘 之</u>	三 石 孝 司
<u>三 野 弘 二</u>	小 磯 守	磯 部 敏 夫
加 藤 恒 雄	齋 藤 行 夫	森 雅 宏
八 卷 裕 仁	渋 川 正 継	原 田 龍 次 郎
中 島 泰 雄		

・平成29年6月19日の評議員会の終結の時 選任 (16名)

杉 島 和三郎	馬 場 正 治	横 井 正 巳
置 田 光 男	<u>野 口 一 平</u>	三 石 孝 司
<u>堀 晃 一</u>	小 磯 守	磯 部 敏 夫
加 藤 恒 雄	齋 藤 行 夫	森 雅 宏
八 卷 裕 仁	渋 川 正 継	原 田 龍 次 郎
中 島 泰 雄		

(2) 評議員の退任 (2名)

・平成29年8月24日 退任 (1名)

齋 藤 行 夫

・平成30年3月31日 退任 (1名)

中 島 泰 雄

理事名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所 属 等
代表理事・会長	板 橋 悟	保土ヶ谷交通安全協会 会長
理事・副会長	高 森 政 雄	港南交通安全協会 会長
理事・副会長	黒 川 順 吉	磯子交通安全協会 会長
業務執行理事・専務理事	木 村 和 夫	横浜市交通安全協会 理事

任期：平成 31 年 6 月まで（予定）

監事名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所 属 等
監 事	小 磯 智 功	横浜市交通安全協会 監事
監 事	岩 岡 紀 一	緑交通安全協会 会長
監 事	工 藤 明	青葉交通安全協会 会長

任期：平成 33 年 6 月まで（予定）

評議員名簿

平成 30 年 3 月 31 日現在

役 職	氏 名	所 属 等
評議員	杉 島 和三郎	加賀町交通安全協会 会長
評議員	馬 場 正 治	山手交通安全協会 会長
評議員	横 井 正 巳	金沢交通安全協会 会長
評議員	置 田 光 男	(一社)南交通安全協会 会長
評議員	野 口 一 平	伊勢佐木交通安全協会 会長
評議員	三 石 孝 司	戸部交通安全協会 会長
評議員	堀 晃 一	鶴見交通安全協会 会長
評議員	小 磯 守	旭交通安全協会 会長
評議員	磯 部 敏 夫	(一財)港北交通安全協会 副会長
評議員	加 藤 恒 雄	都筑交通安全協会 会長
評議員	森 雅 宏	栄交通安全協会 会長
評議員	八 卷 裕 仁	泉交通安全協会 会長
評議員	渋 川 正 継	瀬谷交通安全協会 会長
評議員	原 田 龍次郎	横浜水上交通安全協会 会長
評議員	中 島 泰 雄	横浜市 道路局長

任期：平成 33 年 6 月まで（予定）

平成29年度 交通安全対策事業報告

平成29年の横浜市内の交通事故は、発生件数10,441件（前年比360件増）、負傷者数12,187人（同385人増）、また、亡くなられた方は51人（同2人増）と、横浜市が策定した「第10次横浜市交通安全計画」の目標値55人を下回ることができたものの、依然として尊い命が交通事故により失われています（市内の交通事故発生状況については別表のとおり）。

このような厳しい交通情勢の中、当協会は、人命尊重を活動の基本とし、市民の交通安全意識の高揚を図り、交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけるための活動を、関係団体等と連携して、地域の実情に合わせて、次の5つの事業により推進しました。

- 1 交通安全活動事業
- 2 広報啓発事業
- 3 交通安全功労者表彰事業
- 4 交通安全活動団体への支援事業
- 5 各種交通安全運動との連携事業

1 交通安全活動事業

子ども、高齢者、自転車に関係する交通事故を防止することを重点に関係団体等と連携して次に掲げる交通安全活動を実施しました。

(1) 子ども（乳幼児、児童）の交通安全

事業名	実施内容
<p>ア はまっ子交通安全んぜん教室</p>	<p>小学生に対し安全な歩き方や自転車の安全な乗り方などの基本的な交通安全教育に、体験型教育（制動・巻き込み・死角実験）を加えた交通安全教室を開催しました。また、老朽化したダミー人形を全て更新しました。</p> <p>開催数：277校、累計279回（対前年度 18回増） 参加者数：73,569名（対前年度 168名増）</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>交通安全教室の様子(緑)</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>交通安全教室の様子(泉)</p> </div> </div>

<p>イ チャイルドシート着用教室</p>	<p>各地区交通安全協会母の会と連携して、チャイルドシート着用の向上を図る等の教室を開催しました。</p> <p>開催数： 85回 (対前年度 7回増) 参加者数： 2,509名 (対前年度 309名増)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>子育て支援拠点における教室(港南) 母の会会員に向けた教室(栄)</p>
-----------------------	---

(2) 高齢者の交通安全

事業名	実施内容
<p>ア ヨコハマ・シルバー・セーフティスクール</p>	<p>高齢者を対象とした交通安全教室を開催しました。</p> <p>(ア) 体験実践型交通安全教室 開催数： 8回 (対前年度 4回減) 参加者数： 465名 (対前年度 53名減)</p> <p>(イ) 座学参加型交通安全教室 開催数： 12回 (対前年度 同数) 参加者数： 862名 (対前年度 307名増)</p> <div style="text-align: center;">  <p>町内会対象の体験実践型交通安全教室 (南)</p> </div>

<p>イ ヨコハマ・ シルバー・ ドライビング スクール</p>	<p>高齢ドライバーの交通事故の特徴を踏まえた、安全運転の実技指導教室を開催しました。</p> <p>開催数： 16回 (対前年度 12回増) 参加者数： 271名 (対前年度 181名増)</p>  <p>自動車学校における交通安全教室 (保土ヶ谷)</p>
--	--

(3) 自転車の交通安全

事業名	実施内容
<p>横浜市自転車 交通安全教室 (公募型指名 競争入札)【新規】</p>	<p>横浜市の指定した中学校の生徒に対し、自転車事故の責任、通行場所、ながら運転の危険性等を伝える自転車交通安全教室を開催しました。</p> <p>開催数： 16回 参加者数：4,433名</p>  <p>中学校における自転車交通安全教室</p>

<p>自転車交通安全教室</p>	<p>小学生から高齢者までの幅広い年代を対象とした自転車交通安全教室を開催しました。</p> <p>開催数： 40回 (対前年度 6回増) 参加者数：5,541名 (対前年度 1,528名増)</p>  <p>小学校における自転車交通安全教室 (伊勢佐木)</p>
------------------	---

(4) 二輪車の交通安全

事業名	実施内容
<p>二輪車交通安全教室</p>	<p>二輪車ドライバーを対象とした交通安全教室を開催しました。</p> <p>開催数： 5回 (対前年度 2回増) 参加者数： 74名 (対前年度 23名増)</p>  <p>自動車学校における交通安全教室 (青葉)</p>

(5) 地域住民を対象とした各種交通安全活動

事業名	実施内容
<p>ア 地域に密着した交通安全活動</p>	<p>三世代交通安全教室や、区民まつりなどにおける広報啓発活動を実施しました。</p> <p>実施数： 16回 (対前年度 1回減) 参加者数： 21,153名 (対前年度 2,020名減)</p>  <p>区民まつり(戸部)</p>
<p>イ 地域指定特別対策等</p>	<p>交通事故多発地域に指定された区と連携して、交通事故防止啓発活動を強化しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 自転車交通事故多発地域指定(5月1日指定) 【鶴見区・中区・港北区・瀬谷区】 対象地区に対し、啓発ウエットティッシュを配付 ◆ 高齢者交通事故多発地域指定(9月1日指定) 【西区・中区】 対象地区に対し、啓発ウエットティッシュ及び反射材シールを配付

(6) 地域住民を対象とした各種交通安全活動

事業名	実施内容
<p>交通安全教育指導者研修</p>	<p>交通安全教育指導者の知識、スキルの向上を目的とした交通安全教育指導者研修を実施しました。</p> 

2 広報啓発事業

新入学児童向け交通安全教材の作成や自転車駐車場におけるマナーアップキャンペーン等を実施しました。

事業名	実施内容
<p>(1) 新入学児童への交通安全教材の配付</p> 	<p>○ 交通安全教育用冊子を作成し、市内全小学校の新入学児童に配付しました。</p> <p>冊子：「新一年生のためのこうつうあんぜん」 配付数：34,200部</p>  <p>○ 日産自動車株式会社横浜工場の社員一同様から「反射材リストバンド」の寄贈を受け、神奈川区及び鶴見区の全小学校の新入学児童に配付しました。</p>  <p>(贈呈式)</p>

<p>(2) 自転車駐車を拠点とする交通安全活動</p>	<p>ア 自転車マナーアップキャンペーン</p> <p>開催数： 12回 参加者数： 1,650名</p>  <p>(立場駅自転車駐車場)</p> <p>イ 自転車安全てんけん</p> <p>開催数： 11回 (対前年度 1回増) 参加者数： 89名 (対前年度 4名増)</p>  <p>(戸塚駅西口第十四自転車駐車場)</p> <p>ウ 各季の交通安全運動及び強化月間での自転車駐車場・自動車駐車場における広報</p>
<p>(3) 各種交通安全広報</p>	<p>ア 各季の交通安全運動及び強化月間における広報</p> <p>イ 交通安全キャンペーン・区民まつりなどにおける広報</p> <p>ウ 協会ホームページによる広報</p> <p>エ 神奈川新聞による広報</p>

<p>(4) 交通安全教育</p>	<p>民間企業3社の研修にて、受講者の交通安全意識の高揚を図るため交通安全講話を実施しました。</p> 
<p>(5) 横浜市と連携した広報啓発活動</p>	<p>自転車による交通事故を防止するために、基本的な交通ルールや安全な乗り方の広報啓発活動を、横浜市と連携して行いました。</p>  <p>春の全国交通安全運動に伴う交通安全イベント</p>
<p>(6) 学生ボランティアと連携した広報啓発活動 【新規】</p>	<p>横浜市と合同で2017世界トライアスロンシリーズ横浜大会EXPOに参加するとともに、初の試みとして大学生ボランティアを募集し、2名参加のもと、交通安全ブースを出展しました。</p> 

<p>(7) 神奈川県警察と連携した広報啓発活動 【新規】</p>	<p>交通事故の発生状況に合わせたタイムリーな広報啓発活動を実施するため、神奈川県警察と連携し、「交通事故注意報」ポスターを作成・掲示しました。</p> 
---------------------------------------	---

3 交通安全功労者表彰事業

平成29年度交通安全功労者表彰を、横浜市交通安全対策協議会との共催で次のとおり開催しました。

<p>日 時</p>	<p>平成29年10月27日（金）午後2時～3時</p>
<p>会 場</p>	<p>ロイヤルホールヨコハマ</p>
<p>受 賞 者</p>	<p>功労者 個人 ……………48名 功労者 団体 ……………10団体 優良運転者 ……………94名</p> 

4 交通安全活動団体への支援事業

事業名	実施内容
<p>(1) 横浜市内各地区交通安全協会が実施する事業への支援</p>	<p>ア 各種交通安全運動における広報啓発物品の提供 イ 交通安全活動事業への助成 ウ 各地区交通安全協会事務長を対象とする事務長会議の開催 エ 各地区交通安全協会事務長研修会の開催</p>

<p>(2) 横浜市交通安全母の会連合会が実施する事業への支援</p>	<p>ア チャイルドシート着用教室の開催支援</p> <p>横浜市交通安全母の会連合会が実施するチャイルドシート着用教室への開催を支援しました。</p> <p>開催数： 7回（対前年度 1回増） 参加者数： 195名（対前年度 15名減）</p>  <p>(福祉保健センターでの着用教室)</p> <p>イ 母の会地区代表者研修会の開催支援</p> <p>様々な広報啓発活動の手法を各地区の母の会の活動の参考にしてもらえるように、駅前広場を利用してキャンペーン実践型の研修会の開催を支援しました。</p>  <p>(交通安全研修会)</p>
<p>(3) セーフティ・チャレンジ・かながわへの協賛</p>	<p>3人一組のチームを組んで6か月間、無事故・無違反に挑戦する交通安全コンクールに協賛しました。</p> <p>主催：セーフティ・チャレンジ・かながわ実行委員会</p>
<p>(4) 交通安全こども・高齢者自転車神奈川県大会における表彰</p>	<p>「第48回交通安全こども自転車神奈川県大会及び第6回交通安全高齢者自転車神奈川県大会」において、こども自転車大会の入賞チームに当協会会長賞を授与しました。</p>

5 各種交通安全運動との連携事業

「安全は心と時間のゆとりから」を年間スローガンに、次に掲げる各季の運動、強化月間及び交通安全対策協議会等の安全運動にあわせて、横浜市、神奈川県警察、地区交通安全協会等関係団体等と連携して、交通安全活動を推進しました。

(1) 各季の運動

名 称	内 容
春の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	4月6日(木)～4月15日(土) 4月10日(月)
夏の交通事故防止運動	7月11日(火)～7月20日(木)
秋の全国交通安全運動 交通事故死ゼロを目指す日	9月21日(木)～9月30日(土) 9月30日(土)
年末の交通事故防止運動	12月11日(月)～12月20日(水)

(2) 強化月間

名 称	内 容
九都県市一斉 自転車マナーアップ強化月間	5月1日(月)～5月31日(水)
二輪車交通事故防止強化月間 暴走族追放強化月間	6月1日(木)～6月30日(金)
違法駐車及び放置自転車・ バイククリーンキャンペーン	10月1日(日)～10月31日(火)
飲酒運転根絶強化月間	12月1日(金)～12月31日(日)

(3) 交通安全対策協議会等の安全運動

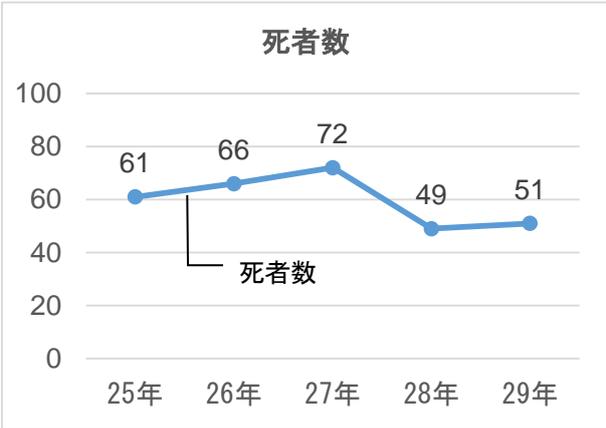
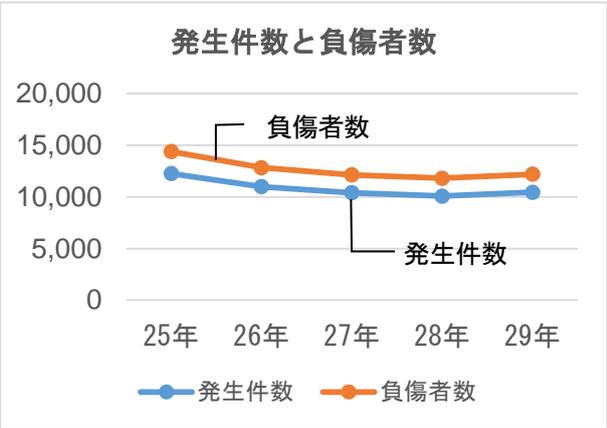
名 称	内 容
横浜市交通安全対策協議会が 年間を通じて実施する取組	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもと高齢者の交通事故防止 ・自転車・二輪車(バイク)の交通事故防止
神奈川県交通安全対策協議会 主唱の年間運動	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全ひとこえ運動 ・自転車マナーアップ運動 ・高齢者交通事故防止運動 ・二輪車交通事故防止運動 ・暴走族追放運動 ・違法駐車追放運動 ・飲酒運転根絶運動 ・県民交通安全の日 ・高齢者交通安全の日 ・交通事故死ゼロを目指す日
神奈川県交通安全協会主唱の 運動	<ul style="list-style-type: none"> ・ハンドルキーパー運動かながわ
特別対策等	<ul style="list-style-type: none"> ・自転車交通事故防止対策 ・高齢者交通事故防止対策 ・交通事故防止特別対策 ・飲酒運転根絶対策

平成 29 年 横浜市内の交通事故発生状況

1 交通事故発生状況

発生件数は 10,441 件（対前年 360 件増）、負傷者数は 12,187 人（同 385 人増）、また、死者数は 51 人（同 2 人増）と増加しました。

年 別	発生件数			負傷者数			死者数		
	(件)	対前年 (件)	増減率 (%)	(人)	対前年 (人)	増減率 (%)	(人)	対前年 (人)	増減率 (%)
H29 年	10,441	360	3.6	12,187	385	3.3	51	2	4.1
28 年	10,081	△316	△3.0	11,802	△330	△2.7	49	△23	△31.9
27 年	10,397	△592	△5.4	12,132	△683	△5.3	72	6	9.1
26 年	10,989	△1,259	△10.3	12,815	△1,562	△10.9	66	5	8.2
25 年	12,248	△910	△6.9	14,377	△1,051	△6.8	61	△5	△7.6



2 子ども関係事故発生状況

発生件数は 776 件（全体に占める構成比 7.4%）、負傷者数は 859 人（同 7.0%）と減少しましたが、死者数は 3 人（同 5.9%）と増加しました。

全体に占める割合は、発生件数、負傷者数は減少し、死者数は前年より増加しました。

年 別	発生件数			負傷者数			死者数		
	(件)	子ども (件)	構成比 (%)	(人)	子ども (人)	構成比 (%)	(人)	子ども (人)	構成比 (%)
H29 年	10,441	776	7.4	12,187	859	7.0	51	3	5.9
28 年	10,081	818	8.1	11,802	877	7.4	49	2	4.1
27 年	10,397	856	8.2	12,132	905	7.5	72	1	1.4
26 年	10,989	939	8.5	12,815	1,012	7.9	66	1	1.5
25 年	12,248	1,138	9.3	14,377	1,208	8.4	61	2	3.3

(注) 子どもの事故：中学生以下の子どもが関係した事故

3 高齢者関係事故発生状況

発生件数は3,305件（全体に占める構成比31.7%）、負傷者数は1,694人（同13.9%）、死者数は23人（同45.1%）と、人数及び構成比ともに前年より増加しました。

年 別	発生件数			負傷者数			死者数		
	(件)	高齢者 (件)	構成比 (%)	(人)	高齢者 (人)	構成比 (%)	(人)	高齢者 (人)	構成比 (%)
H29年	10,441	3,305	31.7	12,187	1,694	13.9	51	23	45.1
28年	10,081	3,119	30.9	11,802	1,645	13.9	49	22	44.9
27年	10,397	3,179	30.6	12,132	1,686	13.9	72	33	45.8
26年	10,989	3,136	28.5	12,815	1,605	12.5	66	27	40.9
25年	12,248	3,347	27.3	14,377	1,739	12.1	61	26	42.6

（注）高齢者事故：高齢者（65歳以上）が関係した事故

4 自転車関係事故発生状況

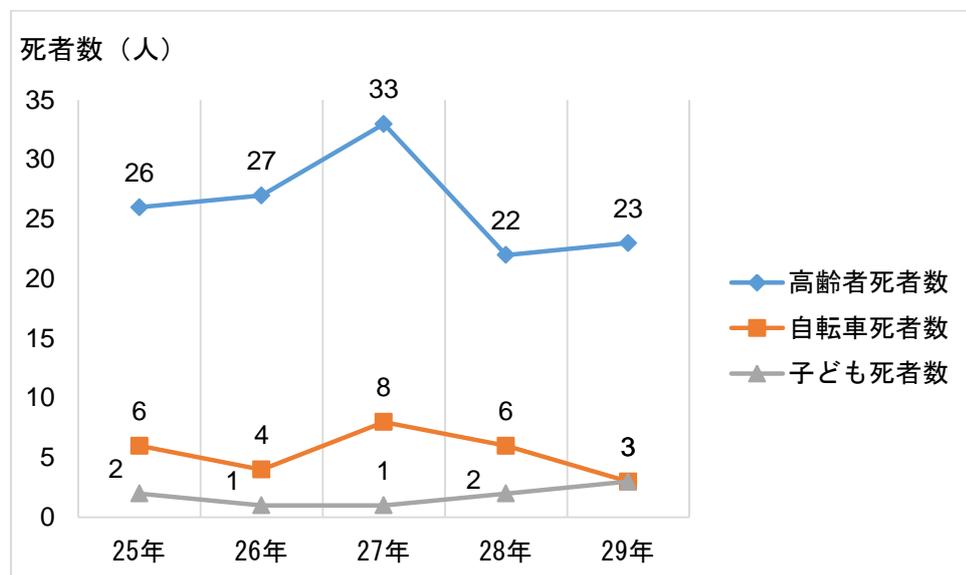
発生件数は2,093件（全体に占める構成比20.0%）、負傷者数は2,037人（同16.7%）と前年より人数及び構成比は増加しました。死者数は3人（同5.9%）と減少しました。

年 別	発生件数			負傷者数			死者数		
	(件)	自転車 (件)	構成比 (%)	(人)	自転車 (人)	構成比 (%)	(人)	自転車 (人)	構成比 (%)
H29年	10,441	2,093	20.0	12,187	2,037	16.7	51	3	5.9
28年	10,081	1,981	19.6	11,802	1,941	16.4	49	6	12.2
27年	10,397	1,982	19.1	12,132	1,921	15.8	72	8	11.1
26年	10,989	2,200	20.0	12,815	2,167	16.9	66	4	6.1
25年	12,248	2,517	20.6	14,377	2,446	17.0	61	6	9.8

（注）発生件数は自転車に関係した事故の件数をいう。負傷者数、死者数は自転車乗用中の負傷者数、死者数をいう。

5 子ども・高齢者・自転車事故死者数の推移（平成25年～平成29年）

高齢者と子どもは28年度から増加傾向にあります。自転車は28年度から減少しています。



平成29年度 自転車等対策事業報告

平成29年度の市営自転車駐車場の管理運営業務については、東部及び西部区域を引き続き受託し運営しました。公募型プロポーザルの結果、平成30年度以降も引き続き、当協会が東部及び西部区域を受託することとなりました。

平成30年度の放置自転車等の移動、保管・返還業務においては、公募型指名競争入札の結果、東部区域を受託することとなりました。

1 自転車駐車場の管理運営

(1) 市内10区における施設及び利用状況

平成30年3月31日現在

東部区域（鶴見区、神奈川区、西区、中区、保土ヶ谷区）

西部区域（旭区、戸塚区、栄区、泉区、瀬谷区）

合計10区

○ 自転車駐車場 …………… 128箇所

既 設 128箇所

○ 収容台数 …………… 49,533台

平成29年度自転車駐車場の新設・増設等の状況

区分	時期	自転車駐車場名	収容台数の増減 (台)
収容台数 変更	平成29年8月	鶴見駅西口	△72
	平成29年8月	保土ヶ谷駅西口第二	△76
	平成29年9月	矢向駅西口	△18
合計（対前年度 増△減）			△166

※いずれも、二段ラックの一部撤去によるものです。



二段ラック撤去後設定した特殊自転車専用区画（保土ヶ谷駅西口第二自転車駐車場）

○ 利用券の販売状況

年間販売枚数は、4,454,450枚となり、前年度に比べ126,404枚増加し、増加率は2.9%となりました。

区 分		販売枚数 (枚)	
自転車	一時利用	2,907,523	
	定期利用	1 か月	91,383
		3 か月	58,763
	小 計	3,057,669	
バイク	一時利用	1,323,353	
	定期利用	1 か月	45,672
		3 か月	27,756
	小 計	1,396,781	
合 計		4,454,450	
前年度実績		4,328,046	
増△減		126,404 (2.9%)	

○ 1日平均の利用台数及び利用率

1日平均利用台数は48,710台で、前年度に比べ829台増加しました。
なお、利用率は97.2%でした。

(年間稼働日数 293日)

区 分		収容台数 ① (台)	1日平均利用 台数 ② (台)	利用率 ②/①(%)
自転車	一時利用	8,206	9,944	121.2
	定期利用	23,174	22,691	97.9
	小 計	31,546	32,635	104.0
バイク	一時利用	4,865	4,522	93.0
	定期利用	13,288	11,013	82.9
	小 計	18,153	15,535	85.6
合 計		49,533	48,170	97.2
前年度実績		49,699	47,341	95.3
増△減		△166	829	—

(参考) 横浜市整理手数料収入 (東部区域・西部区域合計)

当協会が取り扱った横浜市整理手数料は、1, 150, 253千円となり、前年度に比べ、19, 932千円の増 (対前年度1.7%) となりました。

(単位: 円)

区 分		29年度	28年度	対前年度
自転車	一時利用	252,243,720	237,553,220	14,690,500
	定期利用	464,456,500	457,765,000	6,691,500
	小 計	716,700,220	695,318,220	21,382,000
バイク	一時利用	143,053,270	144,179,520	△1,126,250
	定期利用	290,499,500	290,823,500	△324,000
	小 計	433,552,770	435,003,020	△1,450,250
合計		1,150,252,990	1,130,321,240	19,931,750

(対前年度1.7%)

(2) お客様サービス向上の取組

自転車駐車場運営理念・運営方針を踏まえ、次のとおり取り組みました。

ア 業務執行体制

次の執行体制により、お客様満足度の向上に努めました。

【本部】	業務執行理事	
	↓	
	事務局長	
	↓	
	事業部長	
	↓	
	課長補佐・主任 (各1名)	
	↓	
	指導員	(4名)
【現場】	場長・副場長	(57名)
	↓	
	整理員	(219名)
	↓	
	補助整理員	(82名)

一般財団法人 横浜市交通安全協会 自転車駐車場 運営理念・運営方針	
運営理念	市民利用施設であることを常に自覚し、効率的で利用者の立場に立った運営を行います。
運営方針	(ア) お客様の安全・安心・満足を第一に、より多くのお客様をお迎えます。 (イ) 感謝の気持ちを持って、公正・公平なサービスを提供します。 (ウ) 快適にご利用いただくため、日常の整理整頓、清掃、保守管理を徹底します。 (エ) 常にコスト意識を持って運営経費の節減を行います。 (オ) 地域に身近な施設として、地域への貢献を果たします。
平成27年11月改定	

イ 日常管理と巡回指導

お客様に気持ちよくご利用いただけるよう、整理員一人ひとりが「笑顔であいさつ」、「清潔な身だしなみ」を実践するとともに、こまめな整理整頓・清掃及び巡視を行いました。

また、本部指導員による現場巡回・指導を毎月3回以上実施しました。

ウ 接遇の向上に向けた取組

自転車駐車場場長等を対象とした会長講話を実施したほか、実際の事例に基づいた接遇研修を全整理員に実施しました。

また、ミステリーショッパー調査（20管理事務所）や、お客様満足度調査（全自転車駐車場）を実施し、サービス改善に役立てました。

エ クレーム対応と感謝事例

現場と本部が一体となってクレームに対応しました。平成29年度に寄せられたクレームは6件（対前年度7件減）でした。

また、自転車駐車場利用者からの感謝事例は、ホームページや現場への投稿により寄せられ、平成29年度は11件（対前年度同数）でした。

（3）地域貢献活動の実施

ア 子ども110番の家活動

地域の安全と安心に貢献するため、「子ども110番の家活動」を整理員が常駐する自転車駐車場管理事務所74箇所で行い、負傷者の応急処置や交通機関で寝過ごして困っていた子どもの保護など8件の事例がありました。

イ 災害発生時の対応に関する取組

各自転車駐車場に最寄りの「広域避難場所・地域防災拠点」や「帰宅困難者一時滞在施設」を記載した「避難MAP」を常備し、整理員が案内できるようにしました。

（4）職場活性化に向けた取組

ア 従業員表彰の実施

接遇に関して高い評価を得たり、善行が認められた自転車駐車場及び整理員を対象に、会長表彰を行いました。

【表彰対象者等】自転車駐車場7箇所及び整理員18名



会長からの表彰状授与



表彰対象者

イ 整理員人事異動

職場の活性化や整理員のスキル向上等を図るため、計39名の人事異動（4月・11月）を行いました。

ウ 再雇用整理員の雇用

経験や能力を活用するため、70歳を超えた整理員のうち、勤務成績や健康状態が良好な者を、再雇用整理員として雇用しました（新規25名、継続61名）。

(5) 適切な業務執行に向けた取組

ア 定期監査の実施

自転車駐車場管理事務所全75箇所を対象に定期監査を2回（8月・2月）実施しました。

監査結果は概ね良好であり、不適切な事例については、速やかに改善しました。

イ 効率的な管理運営や利便性向上への取組

○ゲートシステムの導入

- ・東戸塚駅西口第二自転車駐車場（12月）



ゲートシステム（東戸塚駅西口第二自転車駐車場）

○交通系 I C カードに対応した一時利用券売機や精算機の導入

5月運用開始

- ・踊場駅自転車駐車場
- ・中田駅自転車駐車場

10月運用開始

- ・高島自転車駐車場
- ・平沼橋駅自転車駐車場
- ・石川町駅北口第二自転車駐車場

1月運用開始

- ・東戸塚駅西口第二自転車駐車場



交通系 I Cカード対応一時利用券売機（中田駅自転車駐車場）

- 中田駅自転車駐車場を I T化の拠点として自転車駐車場の管理
 - ・列車運行情報の提供
 - ・出勤時の「おはようメール」の管理



列車遅延時の列車運行情報提供（星川駅自転車駐車場）

- ウ 自転車駐車場における盗難対策の実施
盗難対策として、次の取組を実施しました。
 - ・整理員による場内巡回や声掛けの強化
 - ・管理事務所への重量金庫の設置継続
 - ・自動券売機への機械警備設置を継続実施
 - ・警察署と連携した防犯に関する看板の場内掲出

- エ 防犯カメラの設置について
道路局と設置個所や設置台数等の調整を行い自転車駐車場 4 3 箇所合計 7 4 台の防犯カメラを新たに設置しました。



管理事務所に設置された防犯カメラ（山手駅自転車駐車場）

オ 未納整理料回収率向上への取組

未納整理料の回収に努めました。回収金額は40,710千円で、回収率は85.7%となり、前年度と比較して、1.4ポイント増加しました。

対象年度	未納整理料	回収金額	回収率
29年度	47,493,250	40,710,450	85.7%
28年度	48,102,380	40,546,680	84.3%
増△減	△609,130	163,770	1.4ポイント

2 交通安全啓発活動の実施

(1) 自転車駐車場における広報

各季（春・夏・秋・年末）交通安全運動及び強化月間に合わせ、次の取組を行いました。

- ・交通安全ポスター、のぼり旗、ミニのぼり旗の掲出
- ・本部職員、整理員及び管理員の胸リボン着用による広報周知
- ・交通安全広報チラシ及び物品の配布

(2) 自転車駐車場における活動

- ・「自転車安全てんけん」を11回実施（東神奈川駅東口ほか）
- ・警察署等と合同の交通安全キャンペーン実施（保土ヶ谷駅西口・天王町駅）



自転車安全てんけん（東神奈川駅東口自転車駐車場・立場駅自転車駐車場）



交通安全キャンペーン（保土ヶ谷駅西口自転車駐車場・天王町駅自転車駐車場）

3 個人情報保護に向けた取組

個人情報保護研修を全整理員に対して実施するとともに、各自転車駐車場窓口においては、「プライバシーマーク」の認証基準に基づき、個人情報の適正な取得、保管、利用を行いました。

また、年2回の定期監査時に個人情報の管理状況について監査を実施しました。監査結果は概ね良好であり、不適切な事例については速やかに改善しました。

4 研修等の実施

自転車駐車場整理員を対象に、各種研修及び訓練を行いました。

(1) 通常研修

研修名	回数	主な内容
新整理員研修（随時）	14回	接遇、クレーム対応、自転車駐車場業務の基本の理解
正規整理員移行時研修（随時）	9回	正規整理員としての心構え、マニュアル習熟度の向上
フォローアップ研修（5月・9月・3月）	3回	具体的事例に基づいた、接客技術の向上（採用1年未満の整理員対象）
新場長研修（随時）	6回	場長の職務や心構えについて
接遇研修（7月）	1回	良い接遇と悪い接遇の理解（具体的な事例を題材）
コンプライアンス研修（7月）	1回	法令及び社会規範遵守の重要性について
個人情報保護研修（7月）	1回	当協会が取り扱う個人情報の保護 プライバシーマークの運用について
人権啓発研修（7月）	1回	様々な差別と自身の気づきについて
健康管理研修（8月）	1回	熱中症の予防について

(2) 特別研修

研修名	回数	主な内容
会長講話（2月）	1回	接遇力を高めるための講話

(3) 防災訓練

研修名	回数	主な内容
防災訓練（11月）	1回	初期消火 119番通報訓練

※自動車駐車場整理員と合同実施



人権研修を受講する整理員（集合研修）



初期消火（防災訓練）

5 自転車会事業の実施

自転車の交通安全を推進して交通事故を防止し、自転車の安全利用の実現に寄与することを目的に立ち上げた「横浜市交通安全協会自転車会」については、平成30年3月までの加入者数は、4,437名となりました。

また、自転車の交通安全に関する各種講習会・研修会の参加機会の提供を11回行いました。2月14日には当協会が金沢交通安全協会、金沢警察署、金沢区安全安心まちづくり推進協議会と共催で、地区センターを活用した自転車交通安全教室を実施しました。



自転車安全教室

自転車駐車場 区別一覽

平成30年3月31日現在

収容台数等	自転車駐車場名	収容台数等	自転車駐車場名	収容台数等	自転車駐車場名	
鶴見区 (14か所) 5,893台	鶴見駅東口第三	中区 (14か所) 3,491台	平沼橋駅	戸塚区 (20か所) 12,273台	二俣川駅第五	
	鶴見駅東口第四		平沼橋駅第二		希望ヶ丘駅北口	
	鶴見駅東口第五		西横浜駅北口		希望ヶ丘駅南口	
	鶴見駅西口		西横浜駅南口		希望ヶ丘駅南口第二	
	鶴見駅西口第二		高島		三ッ境駅北口第三	
	鶴見駅西口第三		高島町駅		戸塚駅東口	
	矢向駅西口		みなとみらい駅		戸塚駅東口第二	
	矢向駅東口		みなとみらい駅第二		戸塚駅東口第三	
	鶴見市場駅東口		石川町駅北口		戸塚駅東口第五	
	鶴見市場駅東口第二		石川町駅北口第二		戸塚駅東口第六	
	鶴見市場駅西口		関内駅		戸塚駅東口第七	
	生麦駅		関内駅第二		戸塚駅東口第八	
	生麦駅西口		関内駅第三		戸塚駅東口第九	
	尻手駅		桜木町駅		戸塚駅西口第五	
神奈川区 (17か所) 4,778台	大口駅西口	保土ヶ谷区 (14か所) 3,389台	桜木町駅第四	栄区 (4か所) 4,100台	戸塚駅西口第十	
	東神奈川駅西口		馬車道駅		戸塚駅西口第十四	
	東神奈川駅西口第二		山手駅		戸塚駅西口第十五	
	東神奈川駅東口		日ノ出町駅		戸塚駅西口第十八	
	新子安駅		伊勢佐木長者町駅		東戸塚駅東口	
	新子安駅第二		伊勢佐木長者町駅第二		東戸塚駅東口第二	
	白楽駅		元町・中華街駅		東戸塚駅東口第三	
	東白楽駅		元町・中華街駅第二		東戸塚駅東口第四	
	片倉町駅		保土ヶ谷駅東口		東戸塚駅西口	
	反町駅		保土ヶ谷駅西口		東戸塚駅西口第二	
	神奈川新町駅		保土ヶ谷駅西口第二		舞岡駅	
	三ッ沢上町駅		保土ヶ谷駅西口第三		泉区 (6か所) 2,911台	本郷台駅
	三ッ沢下町駅		西谷駅北口			大船駅東口第二
	子安駅		西谷駅北口第二			大船駅東口第三
横浜駅西口第七	西谷駅南口	大船駅東口第四				
西区 (21か所) 4,325台	横浜駅西口第九	旭区 (13か所) 5,086台	天王町駅	瀬谷区 (5か所) 3,287台	弥生台駅南口	
	横浜駅西口第十		天王町駅第二		弥生台駅北口	
	横浜駅東口		和田町駅		踊場駅	
	横浜駅東口第二		和田町駅第二		中田駅	
	横浜駅東口第三		和田町駅第三	中田駅第二		
	横浜駅東口第四		星川駅	立場駅		
	横浜駅東口第五		星川駅第二	合計	瀬谷駅北口	
	横浜駅西口第三		鶴ヶ峰駅北口		瀬谷駅北口第五	
	横浜駅西口第四		鶴ヶ峰駅北口第二		三ッ境駅北口	
	横浜駅西口第五		鶴ヶ峰駅北口第三		三ッ境駅北口第二	
	横浜駅西口第六		鶴ヶ峰駅北口第四		三ッ境駅南口	
	横浜駅西口第八		鶴ヶ峰駅南口第三	(128か所) 49,533台	二俣川駅	
	横浜駅西口第十一		二俣川駅		二俣川駅第二	
横浜駅西口第十二	二俣川駅第二	二俣川駅第四				
横浜駅西口第十三	二俣川駅第四					

平成29年度 自動車駐車場等経営事業報告

違法駐車をなくし、交通事故の防止に寄与するため、駐車場を整備し、駐車場利用者に安全で快適に利用していただけるよう管理運営を行いました。また、駐車場利用者に対して交通安全の呼びかけを行うなど、交通安全活動の拠点の一つとして活用するとともに、駐車場収益を協会運営に活用しました。

1 自動車駐車場の区画増設等

(1) 区画増設

阪東橋自動車駐車場では、未利用スペースを活用して自動二輪車用駐車区画を1台増設しました。

自動二輪車駐車場の区画増設状況

年 月	箇所数	収容台数	備 考
平成29年4月1日現在	6	88	
区画増設（7月1日）		1	阪東橋
平成30年3月31日現在	6	89	月極 45台 時間貸 44台



阪東橋自動車駐車場
実施前



自動二輪区画増設
実施後

(2) 区画縮小

不動坂自動車駐車場では、大口顧客の契約解除に伴い、15区画を縮小しました。

自動車駐車場の区画状況

年 月	箇所数	収容台数	備 考
平成29年3月31日	21	577	
区画縮小(4月1日)		△15	不動坂
平成29年4月1日	21	562	
平成30年3月31日現在	21	562	月極 373台 時間貸189台

2 自動車駐車場の管理運営

(1) 月極駐車場

平成29年度の自動車の契約率は、97.5%で前年度に比べ0.4ポイント増加し、自動二輪車の契約率は、84.4%で前年度に比べ6.5ポイント減少しました。

自動車駐車場月極契約率推移 平成30年3月31日現在

契約種別	平成29年度		平成28年度	契約率増減
	契約台数/収容台数	契約率	契約率	
自動車	364台/373台	97.5%	97.1%	0.4ポイント
自動二輪車	38台/45台	84.4%	90.9%	△6.5ポイント

(2) 時間貸駐車場

平成29年度の自動車の稼働率は、18.0%で前年度に比べ5.8ポイント減少し、自動二輪車の稼働率は、23.8%で、前年度に比べ3.0ポイント増加しました。

自動車駐車場時間貸稼働率推移 (収入ベース)

契約種別	平成29年度		平成28年度	前年度比 増減
	収容台数	稼働率	稼働率	
自動車	189台	18.0%	23.8%	△5.8ポイント
自動二輪車	44台	23.8%	20.8%	3.0ポイント

(3) 適切な業務執行に向けた取組

ア 巡回点検・清掃の実施

お客様に気持ちよくご利用いただけるよう、駐車場の巡回を毎月2回以上実施し、場内点検するとともに清掃等を実施しました。

夏場には、除草を重点的に行いお客様に気持ち良くご利用いただけるように努めました。

イ 定期監査の実施

不正や誤りの早期発見や改善、効率的・効果的な業務執行の確保を目的に、野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場を対象に定期監査を8月に実施しましたが、指摘事項等は、特にありませんでした。

(4) 個人情報保護に向けた取組

個人情報保護研修を全整理員に対して実施するとともに、各職場では個人情報を適正に取り扱いました。

「プライバシーマーク」の認証基準に基づいた運用（入退室管理の実施、個人情報の適正な保管等）を野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場において実施しました。

3 交通安全啓発活動の実施

野毛山有料駐車場、野島自動車駐車場を交通安全活動の拠点の一つとして活用し、各種交通安全運動などに合わせ、交通安全の呼びかけやのぼり旗の設置など、啓発活動を行いました。

長沼町第二自動車駐車場では、栄警察署及び栄交通安全協会にも協力していただき、周辺住民や小学生に対し啓発物品の配付等の交通安全啓発活動を行いました。



長沼町第二自動車駐車場 交通安全啓発活動

4 研修等の実施

自動車駐車場整理員を対象に、各種研修及び訓練を行いました。

(1) 通常研修

研修名	回数	主な内容
新整理員研修（随時）	3回	接遇、クレーム対応、機械操作の基本の理解
正規整理員研修（随時）	1回	正規整理員としての業務処理及び心構え、機械操作の基本の再確認
新班長研修（随時）	1回	班長の職務及び心構えについて
事例研修（随時）	1回	実際に発生した業務処理ミス等の再発防止を図るための研修
健康管理研修（6月）	1回	熱中症の予防について
接遇研修（7月）	1回	良い接遇と悪い接遇の理解 （具体的な事例を題材）
コンプライアンス研修（7月）	1回	法令及び社会規範遵守の重要性について
個人情報保護研修（7月）	1回	当協会が取り扱う個人情報の保護 プライバシーマークの運用について
人権啓発研修（7月）	1回	様々な差別と自身の気づきについて

(2) 特別研修

研修名	回数	主な内容
会長講話（2月）	1回	接遇力を高めるための講話

(3) 防災訓練

研修名	回数	主な内容
防災訓練（11月）	1回	防災想定訓練（初期消火、119番通報訓練） （野毛山有料駐車場及び野島自動車駐車場整理員が参加）

※自転車駐車場整理員と合同実施



防災想定訓練（119番通報訓練、初期消火）（野毛山有料駐車場）

自動車駐車場一覧

平成30年3月31日現在

No.	名称	所在地	開設年月	面積 (㎡)	駐車台数		月極 時間貸
					自動車	二輪車	
1	西寺尾二丁目自動車駐車場	神奈川区西寺尾2丁目72-6	H. 16. 2	676	21	7	月極
2	野毛山有料駐車場	西区老松町1	H. 6. 2	3,161	110		時間貸
3	横浜西口自動二輪車駐車場	西区北幸二丁目3-4	H. 18. 3	178		44	時間貸
4	阪東橋自動車駐車場	南区二葉町1丁目1番地	H. 2. 7	2,629	89	13	月極
5	東芹が谷自動車駐車場	港南区東芹が谷23-7	H. 7. 4	200	9		月極
6	港南台自動車駐車場	港南区港南台1丁目30	H. 7. 4	342	19		月極
7	桜道自動車駐車場	港南区港南六丁目2333-10外	H. 24. 7	711	20	7	月極
8	二俣川自動車駐車場	旭区さちが丘136-1地先	S. 63. 2	159	14		月極
9	二俣川第二自動車駐車場	旭区さちが丘50	H. 10. 7	237	10		月極
10	森一丁目自動車駐車場	磯子区森1丁目2049番地先	H. 19. 3	438	12	9	月極
11	野島自動車駐車場	金沢区野島町478番地	S. 63. 7	1,204	92		時間貸
12	富岡東自動車駐車場	金沢区富岡東2555-72	H. 15. 10	283	14		月極
13	釜利谷東自動車駐車場	金沢区釜利谷東6-7-20隣	H. 26. 7	248	5		時間貸
14	新横浜自動車駐車場	港北区新横浜二丁目1-1	H. 2. 2	666	22		月極
15	霧が丘自動車駐車場	緑区霧が丘6丁目16	H. 3. 10	879	40		月極
16	美しが丘自動車駐車場	青葉区美しが丘西三丁目100-41	H. 23. 8	138	4	1	月極
					3		時間貸
17	東戸塚自動車駐車場	戸塚区品濃町500-6	H. 11. 11	639	23	3	月極
18	不動坂自動車駐車場	戸塚区柏尾町300番地先	H. 17. 12	148	12		月極
19	戸塚町自動車駐車場	戸塚区戸塚町2120番地先	H. 18. 11	383	11		月極
20	長沼町自動車駐車場	栄区长沼町334番地先	H. 19. 9	305	10		月極
21	長沼町第二自動車駐車場	栄区长沼町725番地先	H. 23. 4	580	19	5	月極
					3		時間貸
小計				14,204	562	89	
合計					651		

H. 29. 4. 1 不動坂自動車駐車場縮小 (自動車 △15台減)

H. 29. 7. 1 阪東橋自動車駐車場増設 (月極自動二輪 1台増)